

困っている人にちゃんと寄り添う それが日本共産党です



日本共産党
京都市会議員
山本陽子

新型コロナウイルスの感染拡大が続いた1年間でした。コロナ支援策のみならず、豪雨被害、行財政改革による市民サービスの切り捨て等、多くの市民の皆さんの「困った」に寄り添い、共に声を上げてきました。

京都市の「財政危機」キャンペーンは誇大広告です。住民サービスを削り、さらなる市民負担を求める一方で、不要不急の大型公共工事はすすめる市長の提案に、きっぱり反対してきました。市民に寄り添い、マヤカシの政治を正す。ブレずに貫いていきます!

コロナ禍のお商売の実状をお聞きし、市に支援策の充実・改善を求めました



8月の豪雨各地の浸水被害土砂崩れの状況を把握し対策を求めました



全員制の中学校給食の実現を!
4回目の代表質問でも求めました



2021年2月議会代表質問

小金塚地域循環バスの運行継続を求める住民運動、鏡山学区の増便運動を応援

署名提出等住民の皆さんと力を合わせ山科区の公共交通の充実を求めてきました



子どもの未来と
言うならば、**気候危機に責任果たそう!** 大手電力会社の儲けのための石炭火力、原子力発電から脱却を!
再エネに転換を!



日本共産党市会議員団

女性の窮状、性的少数者の権利を保障するため、**ジェンダー平等にも力尽くす**
日本共産党です
18人中半数の9人が女性議員